

第1学年 算数科

1 学年の目標

- (1) 数の概念とその表し方及び計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を重ね、数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、加法及び減法の計算をしたり、形を構成したり、身の回りにある量の大きさを比べたり、簡単な絵や図などに表したりすることなどについての技能を身に付けるようにする。
- (2) ものの数に着目し、具体物や図などを用いて数の数え方や計算の仕方を考える力、ものの形に着目して特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりする力、身の回りにあるものの特徴を量に着目して捉え、量の大きさの比べ方を考える力、データの個数に着目して身の回りの事象の特徴を捉える力などを養う。
- (3) 数量や図形に親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぶ態度を養う。

2 内容 (○知識及び技能 ●思考力、判断力、表現力等)

数 と 計 算	数の構成と表し方	<p>○ものとものを対応させることによって、ものの個数を比べること。</p> <p>○個数や順番を正しく数えたり表したりすること。</p> <p>○数の大小や順序を考えることによって、数の系列を作ったり、数直線の上に表したりすること。</p> <p>○一つの数をほかの数の和や差としてみるなど、ほかの数と関係付けてみること。</p> <p>○2位数の表し方について理解すること。</p> <p>○簡単な場合について、3位数の表し方を知ること。</p> <p>○数を、十を単位としてみること。</p> <p>○具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し、表すこと。</p> <p>●数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、それらを日常生活に生かすこと。</p>
	加法、減法	<p>○加法及び減法の意味について理解し、それらが用いられる場合について知ること。</p> <p>○加法及び減法が用いられる場面を式に表したり、式を読み取ったりすること。</p> <p>○1位数と1位数との加法及びその逆の減法の計算が確実にできること。</p> <p>○簡単な場合について、2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。</p> <p>●数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えたり、日常生活に生かしたりすること。</p>

図形	図形についての理解の基礎	<p>○ものの形を認め、形の特徴を知ること。</p> <p>○具体物を用いて形を作ったり分解したりすること。</p> <p>○前後、左右、上下など方向や位置についての言葉を用いて、ものの位置を表すこと。</p> <p>●ものの形に着目し、身の回りにあるものの特徴を捉えたり、具体的な操作を通して形の構成について考えたりすること。</p>
測定	量と測定についての理解の基礎	<p>○長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすること。</p> <p>○身の回りにあるものの大きさを単位として、その幾つ分かで大きさを比べること。</p> <p>●身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだすこと。</p>
	時刻の読み方	<p>○日常生活の中で時刻を読むこと。</p> <p>●時刻の読み方を用いて、時刻と日常生活を関連付けること。</p>
データの活用	絵や図を用いた数量の表現	<p>○ものの個数について、簡単な絵や図などに表したり、それらを読み取ったりすること。</p> <p>●データの個数に着目し、身の回りの事象の特徴を捉えること。</p>
数学的活動		<p>①身の回りの事象を観察したり、具体物を操作したりして、数量や形を見いだす活動</p> <p>②日常生活の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動</p> <p>③算数の問題を具体物などを用いて解決したり結果を確かめたりする活動</p> <p>④問題解決の過程や結果を、具体物や図などを用いて表現する活動</p>
用語・記号		一の位、十の位、＋、－、＝

3 評価の観点の趣旨

観点	観点の趣旨
知識・技能	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数の意味と表し方及び整数の計算の意味を理解し、量、図形及び数量の関係についての理解の基礎となる経験を豊かにしている。整数の計算をしたり、身の回りにある量の大きさを比較したり、図形を構成したり、数量の関係などを表したり読み取ったりするなどの技能を身に付けている。
思考・判断・表現	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、数理的な処理に親しみ、考え表現したり工夫したりしている。
主体的に学習に取り組む態度	数量や図形に親しみをもち、それらについて様々な経験をもとうとしている。